

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 軽症脳梗塞患者における退院後の歩数を予測する予測モデルの開発

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 和久田雅史 (リハビリテーション部・理学療法士)

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2026年1月19日～2026年12月31日

目的：軽症脳梗塞患者における退院後の歩数を急性期病院入院中の指標を用いて予測する予測モデルを開発することです。

方法：2つの過去の前向き研究データを用いた後ろ向きコホート研究です。

■ 対象となる患者さん

2019年12月から2021年6月、2023年4月から2024年10月に急性期病院に入院した初発脳卒中患者のうち、過去の前向き研究（研究番号19-46「軽症脳梗塞患者の身体活動量向上プログラムの開発-座位行動の減少を促す介入効果の検証-」、研究番号22-66「急性期脳卒中患者のヘルスリテラシーと退院後の身体活動量と座位行動との関連」）においてデータ測定が完遂した方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、NIHSS*、6分間歩行距離、飲酒の有無、独居の有無、歩数などの身体活動量等

*脳卒中神経学的重症度の評価スケールとして世界的に広く利用されている評価の一つ

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

和久田雅史 リハビリテーション部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971